## 平成22年度 決算説明書/事務事業評価シート

部局名保健福祉部課室名地域福祉課

<b>ふ</b> 質	款	項	目	決算書	ŧ
了异	3	5	1	126	頁

	目	名	
災害救助費			

事務事業名称 災害救助事業

# 1. 概要

目的	災害により被災した世帯へ弔慰金・見舞金等の支給を行うことにより、市民の福祉及び生活の安定に資することを目的とする	対象	市民
	<ul><li>○災害緊急援助事業・・・火災や自然災害により被災した世帯へ、お見舞いや弔慰を行う。全焼4件、半</li><li>○災害被災者住宅再建支援事業・・・自然災害により被災した者(世帯)へ、住宅再建のための支援金額</li><li>※ 平成22年度は該当なし</li><li>○災害時要援護者避難支援事業・・・災害時要援護者の避難支援を行うため、関係団体の連絡調整を</li></ul>	を支給	
事業概要			

臨/経	車 業 夕	事業名事業内容(主な経費等)		事業内容(主な経費等) 予算現額 決算額 (千円) (千円)		決算額	I 額 財源内訳				
THE VIEW	Ŧ * 1			(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	評価	
	災害緊急援助事業	見舞金5件 弔慰金1件	扶助費	500	330				330	3	
	災害被災者住宅再建支援 事業	平成22年度は該当 なし	負担金補助 及び交付金	1,000	0					3	
経常	災害時要援護者避難支援 事業	出務謝礼金6名分	報償費	51	30				30	3	
		計		1,551	360	0	0	0	360		

#### 2. 指標設定

成				指標の設定理由							
果 指 標	数値	4	——————————————————————————————————————	標 年 度	_	見舞金等を支給することにより市民の生活の安定に資することができるため					
活動	指標	а	見舞金支給	b	弔慰金の支給		С	住宅再建資金支給	d		
指標	数值	目標	_	目標		_			目標		

#### 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位 H 2 0		H 2 1		H 2 2		
対象者への対応	卅	6	件	16	件	6	件
対象有べの対心	1+			_		_	

## 4. 課題と対応

4. 味過と対心					
課題					
対象者や家族と連絡が取れない時がある					
対応(改善点等)					
消防署や自治会等の協力を得て情報収集を行い、できるだけ早く支 給する					

活	活動指標名		H 2 0		H 2	1	H 2 2	
а	見舞金支	件	5	件	12	件	5	件
a	給	П			_			
b	弔慰金の	件	1	件	1	件	1	件
0	支給				_		_	
	住宅再建	14	0	件	3	件	0	件
С	資金支給	件			_		_	
d								

### 5. 事業費・・・H20~H22 (決算額)、H23 (予算現額)

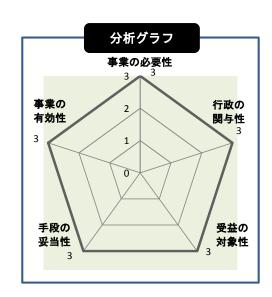
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
	开 识 (111)	369	7,544	360	1,546
	うち経常経費	369	484	360	1,546
	国 費		1,500		
財	県 費	55	62		500
源	市 債				
内訳	その他				
八百	一般財源	314	5,982	360	1,046
	うち経常	314	422	360	1,046
事業	<b>美費に係る人件費</b>	9,849	9,898	9,197	9,030

### 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
いつ起こるか分からない災害 に対して、一定の予算が必要 なため

#### 7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	被災した市民の援助のために必要な事業
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	行政が行うべき事業
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	3	全市民が対象となる
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	3	要綱等に基づき適切に支給することが妥当な手段
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	3	対象となる世帯に支給できている



## 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

O. IJAPHI IMS	
事業の方向性	評価内容
継続	情報収集に努め、適宜迅速に対応すること